

# 増え続ける熊本市の非正規職員、 専門的な分野も「非正規雇用」に

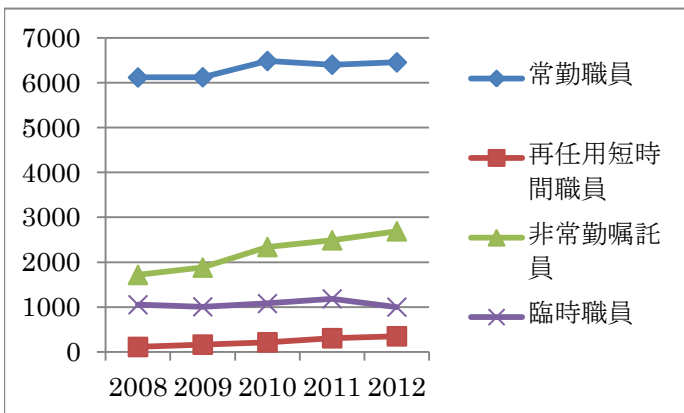
非常勤嘱託員が5年間で1.6倍に

2008～2012年度の5年間で、非常勤嘱託員が1,719人から2,691人へと1.6倍に増えています。

政令市移行に向けた合併もあり職員数全体も増えましたが、再任用

短時間職員と非常勤嘱託員の増加は、顕著です。

特に、増えた分野で中学校非常勤職員や心のサポート指導員・児童育成クラブ指導員などの教育・子育ての分野や、交通局電車運転士など、専門的な知識や経験が特に重視される分野もあります。



## 【主に増えた分野】

中学校非常勤講師、心のサポート相談員、育成クラブ指導員、夜間開放指導員、納税推進員  
交通局電車運転士 など

\*その他、合併による増

|          | 2008 | 2009 | 2010  | 2011  | 2012  |
|----------|------|------|-------|-------|-------|
| 常勤職員     | 6119 | 6123 | 6486  | 6402  | 6455  |
| 再任用短時間職員 | 113  | 165  | 216   | 308   | 351   |
| 非常勤嘱託員   | 1719 | 1883 | 2341  | 2491  | 2691  |
| 臨時職員     | 1054 | 1008 | 1080  | 1185  | 1001  |
| 合計       | 9005 | 9179 | 10123 | 10386 | 10498 |

非正規雇用の広がりがワーキングプアなども生んでおり、市として専門的な分野にまで非正規雇用を大幅に広げることには問題があります。



12月議会の日程が決まりました！



## 【日程】

- 12月4日(火) 本会議(開会)  
6～13日 本会議・一般質問  
17日(月)～ 予算決算委員会  
常任委員会  
20日(木) 予算決算委員会  
(締めくり総括質疑)  
25日(火) 本会議(最終日)  
\*「請願」の締め切りは、12月4日(月)午後5時です。(議会事務局へ提出)  
\*本会議の傍聴は、議会棟5階で。本会議は、インターネットでの中継もあります。(生中継・録画放送)  
\*委員会は、市役所内のモニターで傍聴できます。

## 上野みえこ議員の一般質問

12月6日(木)午後2時より  
議会棟5階・本会議場

<質問内容>

- 住民のいのち・暮らしを守る課題  
・国保・介護・福祉、住宅リフォーム助成、他、
  - 子どもの健やかな成長を願う課題
  - 再開発や産文利用などまちづくりの課題
  - 白川の治水と立野ダム問題 他
- などの内容を予定しています。

**\*どなたでも傍聴できます**

★議会で取り上げてほしい問題やご意見など、お寄せください。

(控室から)  
山本太郎講演会に参加して  
なすまどか

「脱原発と子どもの未来」問われているのは私たちの今」と題して行われた山本太郎講演会に参加しました。事故後「自らの命の危機を感じ、生きたい」と感じたという山本さん。同時に、子どもたちをはじめ多くの国民が、政府の「ウソ」や財界の利益のために、今なお被ばくにさらされ、見殺しにされていることへの憤り・怒りを真っ直ぐに伝えてくれました。

電力産業などからのスポンサー収入に大きく依存する芸能界で、「原発ゼロ」の意思表示を行うことは、仕事を失うことに直結します。葛藤し、それでも自らの気持ちに正直に生きたいと覚悟を決め、社会に原発ゼロを訴えることを選択したその生き方は、多くの参加者に勇気を与えてくれました。

「大切なことは大人が声をあげ、行動すること」そう力強く訴えた山本さん。いまや、毎週金曜日の首相官邸を取り巻く抗議デモは、その矛先を経団連にも向け、原発問題の本質が電力業界の利権にあることを多くの国民が見抜き始めています。原発ゼロを一点に、私もその連帯を広げるために力を尽くしたいと思います。

## 日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団  
ますだ牧子 上野みえこ なすまどか  
熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO. 826  
2012年11月18日  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp  
ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/



## 豪雨水害後の河川改修計画に住民から困惑の声

7月12日の九州北部豪雨災害において、家屋の流出など大規模な被害が発生した龍田陳内4丁目をはじめ、水害被害のあった地域に対して、河川改修計画が熊本県により示されました。

今回の河川改修計画は、龍田陳内4丁目の110戸をはじめ全体で240戸の用地買収を伴う大規模な計画となっています。治

水安全度が高まる一方で、突然の立ち退き計画を知った住民からは困惑の声も少なくありません。

「水害で痛みを受け、今回の立ち退きで2度目の痛みを受けることになるのでは…」との声も寄せられています。

早急な河川改修は必要ですが、住民の合意と納得の上に進められることが最も重要です。

龍田陳内4丁目の河川改修計画～110戸が立ち退きの対象に

現在の白川



県から示された河川整備計画



「移転先も住民まかせ…」 「壊れた家のままで評価されても2重ローンで苦しむことに…」  
「年金暮らしで、今から移転といってもローンすら組めない…」

地域ごとに3日間にわたり行われた説明会。予想だにしていなかった移転計画により、将来の暮らしや見通しが大きく変わり、不安を抱いている住民も少なくありません。「移転先の確保も住民まかせ」「移転補償についても水害により損傷を受け、価値の下が

った家屋が評価の対象」こうした説明を受けた被災者。

「移転先で同じ生活ができるまで支援をしてほしい」「一方的な説明では納得できない」「住民の意見を反映して計画をつくってほしい」など切実な声が寄せられています。

## 住民合意を大前提とした改修・移転支援を！～蒲島知事に申し入れ

松岡徹県議とともに共産党市議団は、住民からの聞き取りや懇談を実施。被災者から出された声をもとに、10月29日、蒲島知事あてに、「住民合意を大前提として河川改修を進めること」「移転にかかる支援の充実」などを要請しました。



### ※ 要望書の主な内容

- ① 今回の豪雨水害は、2002年に策定された白川河川整備計画がありながらも、10年間にわたって整備を進めてこなかった県の責任が厳しく問われている。避難指示の遅れなど、防災計画の不備により被害を拡大させた責任を重く受け止める必要がある。
- ② 「計画には賛成であるが支援を充実してほしい」「移転そのものに反対」など様々な意見があるなかで、

- きめ細かく説明会を実施するなど住民への情報提供とともに、合意と納得を前提とした対応をとること。
- ③ 建物・土地の評価、リフォーム代金、移転費用、解体費用などで住民が損失と被害を受けないよう援助と保障を行うこと。移転先については、県として責任を持つこと。
- ④ 河川改修を急ぐ必要があるが、期限を設定し、住民の合意なしで強行することは行わないこと。

## 蒲島知事の「立野ダム建設に異存なし」に対して抗議・撤回を求める要請

ダム建設を容認した蒲島知事に対して、松岡県議とともに抗議・撤回を求める要請書を提出しました。

流域住民からの公聴会では、発言をした30名全員が、立野ダムに反対・慎重でした。「想定外の豪雨に対応できない」「穴あきダムである立野ダムは、洪水時、流木な

どで穴がふさがれてしまう」「自然環境への影響は甚大」など、住民から疑問が出されました。

ところが知事は、国土交通省に対して「立野ダム建設事業を継続することが妥当との対応方針（原案）については、異存ありません。」と、10月24日、県知事としての意見を提出しました。